

1 昔の道具を絵や文でかこう。

場所	ぶんかがくしゅうえん 文化学習園(約 100 年前の農家) <small>のうか</small>	たんきゅうかん 探究館(約 50 年前の社宅) <small>しゃたく</small>
見つけた道具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 囲炉裏 ・ 箱膳 ・ はがま ・ 水がめ ・ かまど ・ 井戸 ・ 足踏み水車 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火ばち ・ はだか電球 ・ 大きいラジオ ・ 木おけ ・ 七輪 ・ かまど ・ 水道

2 昔の道具のとくちょうや工夫、家の中の様子を、今の様子とくらべながら調べよう。

場所	100 年前の道具	50 年前の道具	今の道具
居間	<ul style="list-style-type: none"> ○ 囲炉裏は暖房だけでなく、照明や調理器具としての役割を果たしていた。囲炉裏のまわりで、家族がそろってご飯を食べていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ はだか電球やラジオ等の電気製品がある。 ○ 火鉢は暖房だけでなく、お湯を沸かすこともできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 色々な種類の照明があって部屋が明るく、テレビやエアコン等の多くの電気製品がある。
だい所	<ul style="list-style-type: none"> ○ かまどで火おこしをしてから調理をしていた。 ○ 水は井戸から汲んできて、水がめに貯めて使っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 七輪は持ち運びができ、どこでも調理ができる。 ○ 水道があり、水汲みをしなくてよくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ガステーブルや電子レンジで簡単に調理ができる。 ○ 水だけでなく、温水器でお湯を好きなときに使える。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 米づくりでは、電気を使わなくても動く道具を使って少しでも仕事を早くしたり、らくにしたりするための工夫をしていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一つの部屋で、食事や家族の団欒、子どもの学習をしていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電気製品にタイマーがついていて、人がついていなくても調理をしたり、ビデオをとったりすることができる。

3 100 年前の人たちや 50 年前の人たちのくらしを調べて、考えたことを書こう。

- 今と比べて電気製品が少ない。自動のものがなく、自分たちの手や足を使って動かさなければならぬものが多いが、道具の使い方一つ一つに工夫が見られる。
- 昔の道具は、木や石、土など自然の材料を使ったものが多い。
- 今は、電気やガスを使って時間をかけずに食事の準備ができるようになっている。